

【科目情報】

授業コード	1FCB601010	科目ナンバリング	FCALAW84001-J1
授業科目名	刑事政策		
担当教員氏名	金澤 真理		
開講年度・学期	2022年度前期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	現代社会と刑事政策。科学的で人道的な刑事司法とは何かを考え、日本の刑事政策の実態を概観し、課題を析出する。
到達目標	現代社会と犯罪・犯罪者・刑事裁判・刑罰を批判的に検討する力を身につける。人間行動科学の成果を踏まえた犯罪原因論を学び、個人の人権を尊重しつつ、犯罪を犯した者が社会の中で再度生活再建をするためには、如何なる制度が効果的かを考え、述べられるようになる。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	刑事政策総論 刑事政策の意義、学問領域	講義中に指示する。
第2回	同上	同上
第3回	犯罪の実態把握	同上
第4回	犯罪原因論の展開	同上
第5回	刑事制裁制度の歴史	同上
第6回	刑事立法と刑事政策（少年法改正についても取り扱う。）	同上
第7回	刑罰をめぐる理論的系譜	同上
第8回	犯罪対策と非犯罪化	同上
第9回	刑罰と保安処分	同上
第10回	保安処分の諸類型	同上
第11回	刑罰の執行とその猶予	同上
第12回	自由刑の理論	同上
第13回	施設内処遇	同上

第14回	社会内処遇	同上
第15回	諸外国の非拘禁的刑罰代替措置と展望	同上
第16回	期末試験	

成績評価方法	到達目標の達成度を測るため、以下により絶対評価の方法を用いる。期末試験（70%）および中間レポート（30%）の合計により評価する。授業の内容を正確に理解し、論理的に説明できることが最低基準である。
履修上の注意	特になし
教科書	武内謙治、本庄武『刑事政策学』（日本評論社）
参考文献	講義中に指示する。
その他	